



アクティブ・ラボ
Active Lab.
はてなをはなす場所



アクティブ・ラボってどんなところ？



アクティブ・ラボは、**学習や学校生活に関する相談**に対応するスペースです。

大学生活の中での生活や授業の学習で疑問がわいてきたときにはぜひアクティブ・ラボに来てください。

初年次ゼミを担当する教員と3年生以上のピア・サポーターが相談に応じます。

ピア・サポーターを導入

ピア・サポーターとは、学生の皆さんと同じ立場でありつつも、高学年という少し経験を有する立場から、学習に困った人に対してサポートを行う存在です。

アクティブ・ラボをより身近に感じ、気軽に来てもらえるように2023年度からピア・サポーターが加わり、学生の立場から全力でサポートします。現在、経済学部3名（3年生1名、4年生2名）、地域政策学部7名（3年生1名、4年生6名）の学生が在籍しています（2024年度当時）。

学習の悩みだけでなく、学校生活や就職活動の悩みなどにぜひご活用ください。

在室時間例（2024年度後期）

月曜 - 水曜 4限	木曜 - 金曜 3限
助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)	助教1名、ピア・サポーター2名 (経済学部・地域政策学部)

※在室時間、担当サポーターは学期ごとに変わります。

アクティブ・ラボ これまでの活動



学習・生活相談

学習

課題の提出方法や講義の受け方で、分からないことがある学生の学習をサポートします。

レポートや課題の内容に関しては、助教の先生にスムーズに取次ぎ、学生本人の力で課題を克服する手助けをしてきました。

生活

学習相談以外にも、普段の生活に関する相談も常時受け付けています。

学生生活のちょっとした悩みにも耳を傾けて、解決に尽力してきました。



ピア・サポーター制度

学生サポーターによる対応

学習面では助教の先生が中心にアドバイスをしますが、生活面などでは学生のピア・サポーターにも相談することができますようになりました。

大人や先生には相談しにくいサークル活動やアルバイトの悩みでも、気軽に来てください。

ゼミ・履修相談

ゼミ

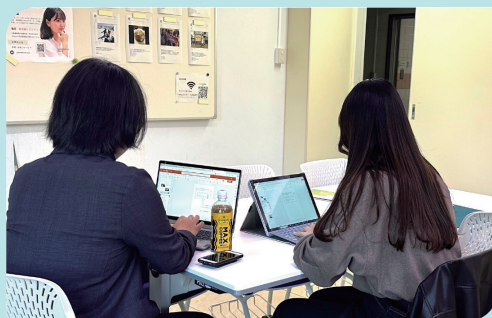
講義に関すること以外では、ゼミナール選択についての相談も受け付けています。

両学部2年次後期から始まるゼミに向けて様々な相談に乗っています。

履修

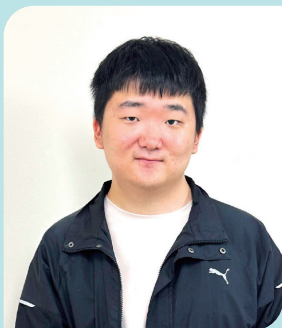
2023年度後期から履修登録の時期に合わせて、全学年を対象とした履修相談会を実施しました。

直前の告知となってしまったにもかかわらず、予想よりも多くの学生に相談に来ていただきました。





アクティブ・ラボを利用してみて



地域政策学部1年生
チョ・ヨンジュン

Q1. アクティブ・ラボを知ったきっかけは？

新入生向けガイダンスで知りました。
他にも、配布された『Approach』を見て、詳しい情報も知ることが出来ました。

Q2. アクティブ・ラボを利用してみてどうでしたか？

非常に役に立ちました。
1年生の前期に初めてレポートを書くことになったのですが、書き方がわからず苦労しました。そこで、アクティブ・ラボに足を運び、書く方法を教えていただきました。

Q3. まだ利用したことない人に一言！

大学の課題や勉強をする中で、つまずいたときに気軽に来てみてください！



ピア・サポーターからみなさんへ



Q1. アクティブ・ラボってどんなところ？

- ・学習中心のお悩みサポーター
- ・近い&遠い将来の相談先
- ・知名度は低いけどいいインフラ
- ・教務課に次ぐ相談場所
- ・困った時に**気軽に足を運べる**場所
- ・頭と心を整理する場所

Q2. ピア・サポーター目線から見るアクティブ・ラボ

- ・誰かに話すことで自分の気持ちを整理できる
- ・専門的な意見を聞きたい場合は**先生**に、先輩から意見を聞きたい場合は**サポーターに、聞くことができる**
- ・学生サポーターもいるからこそ、訪問するハードルが低い
- ・わからないことを解決するための**第一歩が踏み出しやすい**場所

Q3. 学生のみなさんに一言！

- ・誰に聞くか分からないときに使ってみてください
- ・はてなを一緒に解決しましょう！
- ・困ったときは**寄るのが吉！**
- ・機器トラブルにも対応します！
- ・視野を広げて学生生活を充実させましょう！
- ・行くと広がるあなたの視野
- ・何かあったらとりあえず来てみてください！
- ・ぜひお話をしに来てください

現在アクティブ・ラボには、
地域政策学部の学生7名
経済学部の学生3名
計10名の学生サポーターが
在籍しています！

そんなピア・サポーターの皆さんに、
**「アクティブ・ラボって
どんなところ？」**
とインタビューしてみました！
(2024年度当時)

 **今だからできること、見つけませんか？**

鈴木 宏幸

【出身】埼玉県

【研究内容】地域政策学、地方財政、公共選択論、教育政策。これまでは効率的な学校配置について、データに基づいた研究を行ってきました。今後は公共経営やまちづくりの実証分析(データ分析)にも取り組んでいきたいです。

Q1. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

「今しかできない体験をし、自分の魅力を高めること」—少し抽象的に聞こえるかもしれませんがね。大学生になるまでできなかったことが、たくさんあったはず。それは勉強やアルバイト、旅など、人それぞれだと思います。こうした活動は一見、ごく普通の大学生活のように思えるかもしれませんが、意外と大学を卒業するとできなくなることも多いものです。

反対に、大学を卒業して社会に出てからこそ、思い切りできることもあります。働き始めれば、それに見合う所得が得られるでしょう。お金のかかる趣味や娯楽は、もしかすると卒業後に楽しむ方が“効率的”なのかもしれません。

それぞれの「今しかできないこと」を見つけて挑戦してみてください。その一つひとつの体験が積み重なって、やがて腐葉土のように熱を帯び、あなたの魅力を育むエネルギーとなってくれることでしょう。探すなかで、もし道に迷ったならば、ぜひアクティブ・ラボに足を運んでみてください。

Q2. 印象に残っている大学の授業は？

「財政学」ですね。研究者になるきっかけをくれた科目です。

Q3. おすすめの本は？

①M. フリードマン & R. フリードマン『選択の自由—自立社会への挑戦』、②木下齊『地元がヤバいと思ったら読む 凡人のための地域再生入門』、③菅野仁『友だち幻想』です。



🗨️ たくさん本を読もう！



中澤 拓哉

【出身】茨城県南部

【研究内容】ユーゴスラヴィア近現代史、南東欧地域研究、日本・南東欧交流史。特に、モンテネグロという小さな国の歴史と民族問題に焦点を当てています。

Q1. 研究の面白さって？

知らなかったことを知ること自体がとても面白いですし、一次史料にあたって、昔の人がどんなことを考えていたのかを追体験するのは知的にスリリングだと思います。また、旧ユーゴスラヴィアという魅力的な地域に触れることそれ自体が楽しいです。語学力がないので、いつも苦労していますが(笑)。

Q2. おすすめの本は？

小川一水『天冥の標』（ハヤカワ文庫、全10巻、2009～2019年）です。人類が宇宙に広がった時代に辺境の植民地で未知の病気と謎の怪物が現れた……というところから始まる壮大な群像劇で、パンデミック、農業、異質な知性との遭遇、そして絢爛豪華な宇宙戦争までもが1つのシリーズに詰め込まれています。まあひとまず私を信じて1巻のラストまで読んでみてください。絶対面白いので！

10巻はちょっと長すぎる、という人には、米澤穂信『さよなら妖精』（東京創元社、2004年）をぜひ読んでほしいです。

Q3. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

いっぱい本を読むことだと思います。図書館や電子書籍を活用しましょう！

🗨️ 探求する時間を大事に

Q1. 研究の面白さって？

自分の知らない世界のことを深く学べることだと思います。自分の研究は歴史研究に近いので、現代とは異なる時代を生きた人々の考えを知る事が出来ます。一番面白いのは、論文という形で自分の考えが形になる瞬間です。

Q2. 大学生の間にやっておいた方がいいことは？

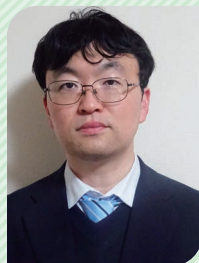
すぐ役に立つけど、すぐに賞味期限がくる本ではなく、自分の人生にとっての「教養」となる本と出会い、ものの見方や考え方をしっかりと持つことだと思います。自分はよく社会学の古典を読んでいました。

Q3. 印象に残っている大学の授業は？

大学入学時の「社会科学概論」です。様々な映像資料を使いながら、社会問題とは何かをストレートに学生にぶつけて来る授業でした。大学で「社会学」を教える際にも「社会科学概論」を意識して教えている箇所があります。

Q4. なんで研究者を目指したの？

中高生の頃から社会科が好きで、自分の興味ある事柄を調べるのが趣味でした。大学生になってから企業人になるよりは、自分の好きを追求したいと考えるようになり、研究者を目指しました。



長島 祐基

【出身】埼玉県

【研究内容】専門は社会学(歴史社会学、文化社会学、社会運動史)。戦後大阪の働く人の文化運動(主に演劇)に着目した研究を進めています。最近は映画の上映運動にも興味があります。

📍 アクティブ・ラボへの来室方法



アクティブ・ラボ
Active Lab.
 はてなをはなす場所

場所：研究棟 1階
 E-mail：aclub-jyokyo@tcue.ac.jp
 相談・予約フォーム URL：
<https://forms.office.com/r/xw4aLzbzrp>



↑ 質問・予約